

景況調査回答企業の概要

(平成18年2月調査)

《概要》

- 所在地別では「城東」が31.9%と最も高く、「都心」16.4%、「城南」14.5%である。製造業は「城東」「城南」、卸売業は「都心」「城東」の割合が高い。小売業は各地域区分に分散して立地している。サービス業は「都心」「副都心」への立地割合が高いことが特徴である。
- 資本金は、「1千万円以下」が38.0%、「1千万円超5千万円以下」が39.0%である。小売業は「個人」「1千万円以下」の割合が高い。
- 創業年をみると、昭和49年以前が8割近くを占めている。製造業、卸売業、小売業は「昭和29年以前」の企業が約半数あるのに対し、サービス業は比較的新しい時期に創業している企業の割合が高い。
- 経営者の年齢は、全体では「60歳代」が約4割で最も多く、「50歳代」が約3割で続いている。また、「50歳代」から「70歳代」までで全体の約85%を占めている。
- 現在の経営者の続柄・出身は、全体では「二代目以降(親族)」が56.4%と最も高く、次いで「創業者」が33.9%である。サービス業は「創業者」が半数を超え、他業種との違いをみせている。

回収企業数

	対象数	回収数	回収率	小規模	中小規模	中規模	大規模	規模不明
全体	3,875	1,519	39.2%	509	280	340	253	137
製造業	1,125	476	42.3%	143	79	114	100	40
卸売業	875	370	42.3%	148	62	76	52	32
小売業	875	326	37.3%	92	92	88	34	20
サービス業	1,000	347	34.7%	126	47	62	67	45

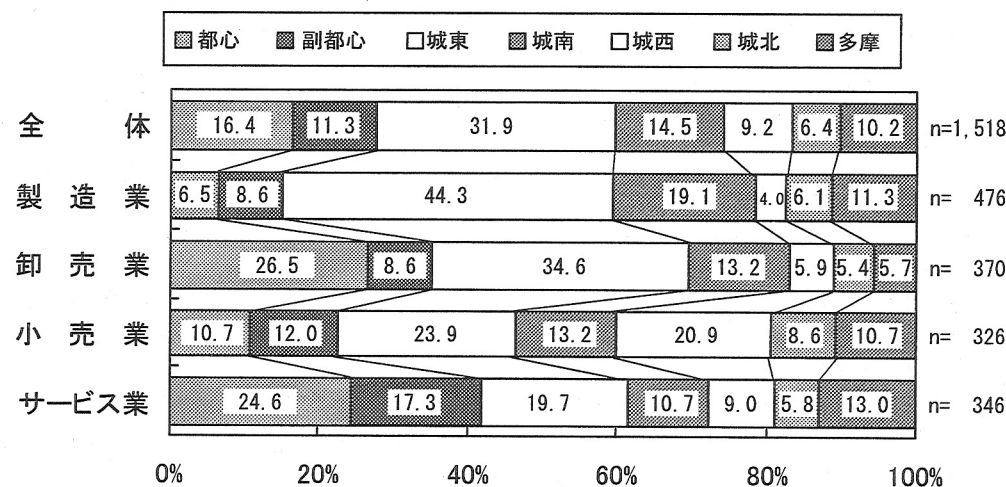
(規模区分については2ページ参照)

1 所在地

景況調査回答企業の所在地を地域区分(注1)でみると、「城東」が31.9%と最も高く、以下「都心」が16.4%、「城南」が14.5%と続いている。

業種別にみると、製造業は「城東」が44.3%と最も高く、次いで「城南」の19.1%となっており、両区分で63.4%を占める。卸売業は「都心」が26.5%、「城東」が34.6%と高い。小売業は「城西」が20.9%と他の業種に比べて高い割合になっているほか、各地域区分に分散して立地している。サービス業は調査対象に企業関連サービス業が多いこともあり、事業所が集積している「都心」と「副都心」への立地割合が高いことが特徴となっている。

図表1 所在地



(注1) 地域区分

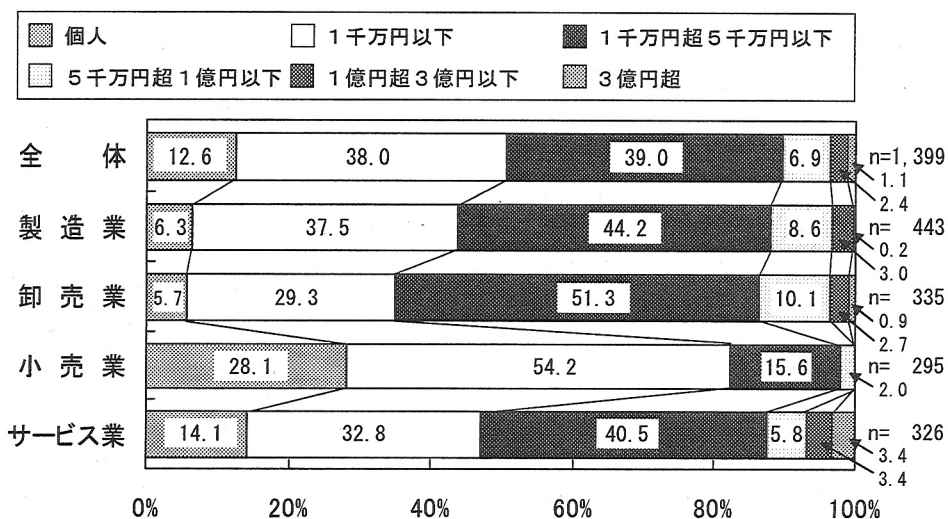
都心(千代田、中央、港)、副都心(新宿、文京、渋谷、豊島)、城東(台東、墨田、江東、荒川、足立、葛飾、江戸川)、城南(品川、目黒、大田)、城西(世田谷、中野、杉並、練馬)、城北(北、板橋)、多摩(多摩地域の市町村、島しょ)

2 資本金

全体でみると「個人」が12.6%、資本金金額では「1千万円以下」が38.0%、「1千万円超5千万円以下」が39.0%となっている。

業種別にみると、製造業、卸売業、サービス業は「1千万円超5千万円以下」の企業が4割を超え、最も大きな割合を占める。それに対し、小売業は「個人」が28.1%、「1千万円以下」が54.2%と高く、他の3業種の資本金構成とは大きく異なっている。中小企業の定義における資本金基準の違い（注2）が、こうした小売業の資本金構成に反映しているともいえる。なお、サービス業は「個人」の割合が14.1%と小売業に次いで高い。

図表2 資本金



（注2）中小企業基本法による中小企業の定義（下記基準のいずれかを満足する企業）

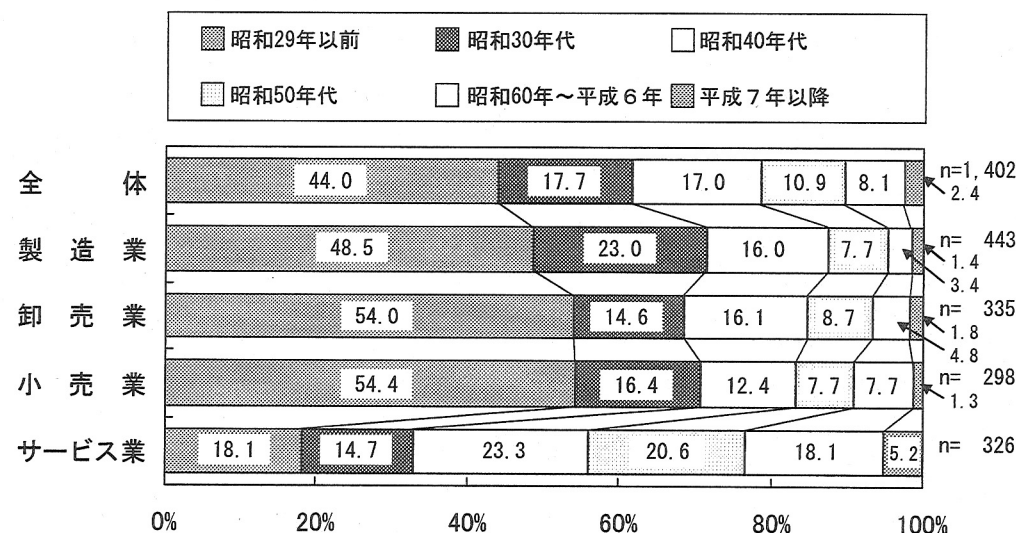
区分	資本金基準	従業員数基準
製造業	3億円以下	300人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
小売業	5千万円以下	50人以下
サービス業 (ソフトウェア、情報処理サービス)	5千万円以下 (3億円以下)	100人以下 (300人以下)

3 創業年

創業年を全体でみると、「昭和29年以前」が44.0%で最も高く、「昭和30年代」が17.7%、「昭和40年代」が17.0%と業歴30年以上の企業が8割近くを占めている。

業種別にみると製造業、卸売業、小売業では「昭和29年以前」が5割前後にまで達し、業歴の古い企業が多い。サービス業では「昭和29年以前」は18.1%と低い一方で、昭和60年以降の創業が23.3%と高く、比較的新しい時期に創業している企業の割合が高い。

図表3 創業年

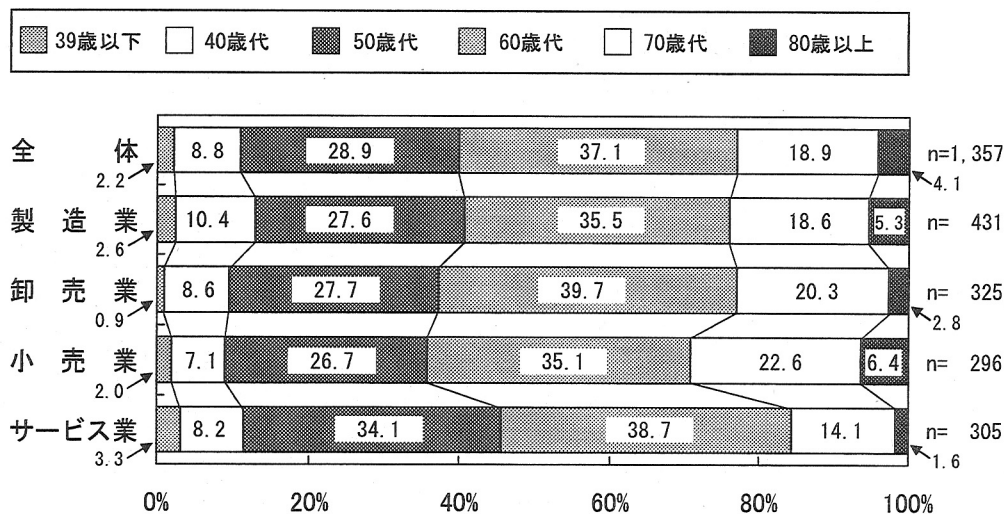


4-1 経営者の年齢

経営者の年齢を全体でみると、「60歳代」が37.1%と最も高い。次いで「50歳代」が28.9%、「70歳代」が18.9%と続き、「50歳代」から「70歳代」までで全体の約85%を占めている。また「80歳以上」も4.1%ある。一方「39歳以下」は2.2%、「40歳代」は8.8%と若い経営者の割合は低くなっている。

業種別にみると、サービス業は50歳代以下の割合が45.6%と他の3業種に比べやや高い。一方、小売業は70歳代以上が約3割を占め、年齢の高い経営者が多い。

図表4 経営者の年齢



4-2 現在の経営者の続柄・出身

現在の経営者の続柄・出身を全体でみると、「二代目以降(親族)」が56.4%と最も高く、次いで「創業者」が33.9%であった。

業種別に見ると製造業、卸売業、小売業は業歴の古い企業が多いこともあり、「二代目以降(親族)」が6割を超えている。サービス業は創業年次の新しい企業が多く、「創業者」が半数を超えている。また、「創業者」以外の経営者の出身は、全業種とも親族が最も多い。親族以外の出身に目を向けると、小売業の「従業員出身」が2.0%と他業種に比べ極端に低い。

図表5 現在の経営者の続柄・出身

